

第1会場

パシフィコ横浜 ノース 1階 G3+G4

9:00~10:00 招請講演2 座長：小松 康宏（板橋中央総合病院）

Beyond the Bedside: The Potential of Patient and Family Engagement in Healthcare

○Neda Milevska Kostova
Patients for Patient Safety Observatory, Switzerland

10:30~11:30 特別講演4 座長：水本 一弘（和歌山県立医科大学附属病院 医療安全推進部）

日本を前に進める 一生体肝移植ドナーの経験を踏まえた医療者へのメッセージ

○河野 太郎
衆議院議員

11:45~12:05 会員総会

12:15~13:05 教育セミナー10 座長：小松 康宏（板橋中央総合病院／群馬大学）

患者・市民参画の推進と医療の質・安全

患者・市民参画を推進するための教育プログラムの開発

○片山 佳代子
群馬大学 情報学部／神奈川県立がんセンター臨床研究所

共催：株式会社GUD care

13:40~14:40 招請講演3 座長：後 信（九州大学病院／日本医療機能評価機構）
田中 和美（群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学）

Global Initiatives on Patient Safety

○Neelam Dhingra
Vice President and Chief Patient Safety Officer, Joint Commission International

14:50~15:50 特別講演5 座長：杉山 良子（医療安全全国共同行動）

転倒・転落事故予防の理念と普及・啓発

○武藤 芳照
東京健康リハビリテーション総合研究所

16:00~17:00 大会長講演 座長：矢野 真（日本赤十字社総合福祉センター）

学びを続ける。～継続的な学びを通じた安全文化の醸成を考える～

○荒井 有美
北里大学病院 医療安全推進室

17:00~17:30 表彰式・閉会式

第2会場

パシフィコ横浜 ノース 3階 G303+G304

8:30~10:00 大会企画パネルディスカッション6

座長：岩田 太（神奈川大学 法学部）
安井 はるみ（セコム医療システム株式会社）

医療事故の当事者への対応を再考する

1 医療事故後の対応について ～当事者の立場から～

○高山 詩穂
患者・家族と医療をつなぐNPO法人架け橋

2 海外における医療事故当事者への対応

○種田 憲一郎
国立保健医療科学院

3 これまでの医療事故後の対応で見えてきたもの
－患者遺族と医療対話推進者の立場から－

○豊田 郁子
イムスリハビリテーションセンター東京葛飾病院

指定発言：名越 究（鳥根大学医学部環境保健医学講座）

10:10~11:40 学会連携企画パネルディスカッション3

座長：荒神 裕之（山梨大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部）
安本 有佑（板橋中央総合病院 救急総合診療科）

日本プライマリ・ケア連合学会連携企画
プライマリ・ケアと質・安全－診療所や中小規模病院における取り組みと課題

1 医療機関の類型と患者安全上の特性

○栗原 健
名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部

2 本邦のプライマリ・ケア診療所における患者安全管理体制の実態調査

○小坂 鎮太郎¹、青木 拓也²
¹東京都立広尾病院 病院総合診療科、²東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 臨床疫学研究部

3 プライマリ・ケアにおける患者安全の問題①
－資源に乏しい状況での医療安全をどのように確保すべきか

○長谷川 友紀
東邦大学医学部社会医学講座

4 家庭医が実践する患者安全への取り組みと課題

○井上 真智子
浜松医科大学地域家庭医療学講座

5 穎田病院における取り組みと課題

○赤岩 喬
穎田病院総合診療科

12:15~13:05 教育セミナー11

座長：小林 和幸（神戸大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部）

『安全確保に向けた情報収集と検討を行っている』～院内外の報告制度をどう活用するか？～

○菊地 龍明

公立大学法人横浜市立大学附属病院 医療の質・安全管理部

共催：株式会社メディシステムソリューション

13:15~14:45 学会連携企画パネルディスカッション4

座長：小泉 俊三（一般財団法人東光会 総合医学研究所 所長）

長尾 能雅（名古屋大学医学部附属病院）

医療安全全国共同行動連携企画**医療安全全国共同行動が目指すもの****1 医療安全全国共同行動の歩みと患者安全行動計画**

○栗原 健

名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部

2 毎月のオンラインセミナー開催・医療安全レポート発行と、行動計画の推進

○原田 賢治

東京農工大学保健管理センター

3 医療安全管理者養成研修について

○杉山 良子

医療安全全国共同行動

4 “行動目標5 経過観察・急変対応における安全保障”の実現に向けて○安宅 一見¹、藤谷 茂樹²¹奈良県総合医療センター 救急・集中治療センター、²聖マリアンナ医科大学 救急医学**5 PICCプラクティショナーコースとは何か？**

○徳嶺 譲芳

杏林大学 医学部 麻酔科学教室

6 患者安全連合軍の結成の重要性

○河野 龍太郎

安全推進研究所

7 医療安全全国共同行動に期待するもの

○水本 一弘

一般社団法人 医療の質・安全学会(和歌山県立医科大学附属病院医療安全推進部)

第3会場

パシフィコ横浜 ノース 3階 G301+G302

9:00~10:00 教育講演4 座長：滝沢 牧子（埼玉医科大学総合医療センター 医療安全管理学）

境界をこえた協働による医療チームのレジリエンス発揮と安全マネジメント

○中島 和江
大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部

10:10~11:40 S-3 座長：飛田 伊都子（学術委員会委員長／大阪医科薬科大学 看護学部）

小松 康宏（学会誌編集委員会委員長／板橋中央総合病院）

学術委員会・学会誌編集委員会・調査研究倫理審査委員会共同企画
医療の質・安全に関連する研究倫理の課題と関連委員会の役割

1 医療の質・安全に関する調査研究の倫理的課題

○田代 志門
東北大学大学院文学研究科社会学専攻分野

2 学術委員会から：委員会の役割と倫理的課題

○飛田 伊都子
学術委員会委員長／大阪医科薬科大学 看護学部

3 編集委員会から：委員会の役割と倫理的課題

○小松 康宏
学会誌編集委員会委員長／板橋中央総合病院

4 調査研究倫理審査委員会から：委員会の役割と倫理的課題

○鮎澤 純子
調査研究倫理審査委員会委員長／九州大学病院 ARO次世代医療センター

5 学術集会から：本学会の特色と倫理的課題

○田中 和美
第19回学術集会プログラム委員長／群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学

12:15~13:05 教育セミナー12

座長：荒井 康夫（北里大学 未来工学部 データサイエンス学科 メディカルインフォマティクス研究室）

医療安全・ケアの質の向上にDXで挑む！ベッドサイド情報端末の導入における
取り組みと課題

○榎本 武治
聖マリアンナ医科大学病院 医療安全管理室
○森 佐和子
聖マリアンナ医科大学病院 看護部

共催：株式会社ユカリア

13:15~14:15 教育講演5 座長：安田 あゆ子（国立病院機構名古屋医療センター 医療安全管理部・外科）

リスクの観点からシステミックにヒューマンエラー対策を考える

○小松原 明哲
早稲田大学理工学術院

14:25~15:55 PD-15

座長：中島 勸（虎の門病院 医療安全部）

若命 真裕子（東京大学医学部附属病院 看護部）

再考！タスクシフトと医療安全**1 医師の立場からタスクシフトを考える**○中島 勸
虎の門病院医療安全部**2 多忙極める医師の事務作業の軽減に配置された医師事務作業補助者の医療安全への寄与はどうあるべきか。**○三浦 薫、高山 昌代、増田 大作
独立行政法人 りんくう総合医療センター**3 看護師の立場から**○小波本 直也
聖マリアンナ医科大学病院 診療看護師技術部**4 タスクシフトを安全に進めるために必要なこと - 薬剤師の立場から -**○舟越 亮寛
医療法人鉄蕉会亀田総合病院**5 臨床工学技士の立場から**○松田 晋也
東京都済生会向島病院 医療安全管理室**6 医療の質・安全学会会員の考えるタスクシフトと医療安全
～事前アンケート結果報告～**○佐藤 暢夫
聖マリアンナ医科大学病院 麻酔科・集中治療センター

第4会場

パシフィコ横浜 ノース 3階 G314+G315

8:30~10:00 PD-16

座長：綾部 貴典（宮崎大学医学部附属病院）
浦松 雅史（東京医科大学 医療の質・安全管理学分野）

広報委員会企画

伝えたい、広めたい、患者安全・医療安全

- 1 **利用者の立場や目的を考えて、使いやすく分かりやすいホームページ（ウェブサイト）を目指す**
○原田 賢治
東京農工大学保健管理センター
- 2 **医療の質・安全学会の運営と広報活動の新たな役割**
○辰巳 陽一
近畿大学病院安全管理センター・医療安全対策部
- 3 **ハレとケで考える医療者側からの医療の質・安全の広報活動**
○奥村 将年
愛知医科大学病院 医療安全管理室
- 4 **医療安全を築く患者市民の力**
○轟 浩美
認定NPO法人希望の会
- 5 **インフォデミック時代を乗り越える「医療の質・安全」の情報発信の在り方**
○井上 祥
株式会社メディカルノート

10:10~11:40 PD-17

座長：南須原 康行（北海道大学病院 医療安全管理部）
兼児 敏浩（三重大学附属病院 医療安全管理部）

医療安全専従医師のキャリアパスを考える

- 1 **医療安全専従医師のキャリアビジョン：専従医師の未来を切り拓く～そこに"明るい未来"はあるのか？～**
○新田 雅彦¹、村尾 仁²
¹大阪医科薬科大学病院 医療安全推進室、²社会医療法人 東和会
- 2 **医療安全に従事する医師に求められる役割を考える - 施策の視点から -**
○植田 瑛子、駒形 和典、渡邊 文子、山田 貴志、松本 晴樹
厚生労働省 医政局 地域医療計画課 医療安全推進・医務指導室
- 3 **消化器外科医として、患者安全への貢献と専門医維持とのジレンマ**
○内門 泰斗^{1,2}、大塚 隆生²、夏越 祥次³、長尾 能雅⁴
¹鹿児島大学病院医療安全管理部、
²鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 先進治療科学専攻 外科学講座 消化器外科学、
³医療法人玉昌会 加治木温泉病院、⁴名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部
- 4 **整形外科医師から医療安全管理専従医師となって**
○内山 勝文^{1,2}
¹北里大学医学部 医学教育研究開発センター 医療安全・管理学研究部門、²北里大学病院 医療安全推進室

13:15~13:05 教育セミナー13 座長：寺井 美峰子（医療の質・安全学会 医療安全管理者ネットワーク委員会）

第44回医療安全管理者ネットワーク会議 in 学術集会

～生体情報モニターアラームの事故を考える 多職種で考える体制づくり～

1 生体情報モニターアラームの事故を考える
（第43回医療安全管理者ネットワーク会議）

○遠田 光子

医療の質・安全学会 医療安全管理者ネットワーク委員会

2 大阪市立総合医療センターにおける生体情報モニターに関する取り組みの実際

○山上 啓子

大阪市立総合医療センター 医療安全管理部／総合診療内科

共催：ニプロ株式会社

13:15~14:05 一般演題（口演）23 研究発表 座長：岡田 浩（和歌山県立医科大学 薬学部 社会・薬局薬学）
鈴木 明（浜松医科大学医学部附属病院 医療安全管理室）

患者中心の医療・コミュニケーション

0-23-1 パンデミックなどの緊急的な状況における薬事行政と市民のリスクコミュニケーションに向けたアンケート調査

○北村 温美¹、徳永 あゆみ²、安部 猛³、岡田 浩⁴、中島 和江¹

¹大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部、²関西医科大学 医療安全管理センター、
³福島県立医科大学 総合科学教育研究センター、⁴和歌山県立医科大学 薬学部 社会・薬局薬学

0-23-2 アフターコロナにおける急性期医療機関に従事する看護師の医療サービスに対する認識

○中野 葉子¹、横谷 知也²、中島 利佳¹、吉井 英美^{3,4}

¹高知大学医学部看護学科、²宝塚医療大学和歌山保健医療学部看護学科、
³高知大学大学院総合人間自然科学研究科看護学専攻、⁴香川大学医学部附属病院

0-23-3 医療機関における診療情報不開示の理由に関する検討

○荒井 康夫¹、大道 久²

¹北里大学 未来工学部データサイエンス学科 メディカルインフォマティクス研究室、²日本大学 名誉教授

0-23-4 医療対話推進者と医療安全管理部門の連携の実態と課題

○本谷 園子¹、末永 由理¹、坂本 すが¹、稲葉 一人²

¹東京医療保健大学大学院医療保健学研究科、²いなば法律事務所

0-23-5 医師と患者のコミュニケーション場面や患者教育場面における看護介入の質と看護実践能力や看護観の関連

○近藤 菜津美、塚越 隆司

医療法人社団ナイズ

14:25~15:55 PD-18

座長：落合 慈之（東京医療保健大学）

医療安全のためのデータ利用を妨げているものは何か
—使わないのが問題なのか使えないのが問題なのか—

1 医薬品・医療機器のバーコード表示の意義

○野村 由美子

厚生労働省医薬局医薬安全対策課

2 電子カルテやシステムでGSIの利用拡大への期待：医療安全管理者の立場から

○松村 由美

京都大学医学部附属病院 医療安全管理部

3 医療DXにむけた標準データの利用と医療安全

○美代 賢吾

国立国際医療研究センター 医療情報基盤センター

4 標準コードの利用における課題と期待

○西田 睦¹、熊木 弥広²、柚木 静香²、木ノ内 明³、日下部 龍巳⁴、武富 紹信⁴

¹北海道大学病院 経営戦略部、²北海道大学病院 管理課、³北海道大学病院 医事課、

⁴北海道大学病院 医療情報企画部

第5会場

パシフィコ横浜 ノース 3階 G316+G317

8:30～9:30 一般演題(口演) 24 研究発表

座長：菊田 裕規 (大阪医科薬科大学病院 薬剤部/医療総合管理部 医療安全推進室)
深見 達弥 (島根大学医学部附属病院 医療安全管理部)

教育・トレーニング (3)

0-24-1 薬剤師歴が影響したインシデントの特徴と傾向

～14年分の医療事故情報収集等事業データを用いた検討～

○武田 浩文^{1,2}、鳥羽 三佳代^{2,3}、森脇 睦子³、工藤 篤²

¹東京医科歯科大学病院 医療情報部、²東京医科歯科大学病院 医療安全管理部、

³東京医科歯科大学病院 クオリティ・マネジメント・センター

0-24-2 脳卒中後の嚥下リハビリにおける患者状態に適応した介入方法の検討

～標準と実臨床の差異に着目した分析とフィードバック～

○市川 蓮也¹、中島 栄子²、井手 睦³、水流 聡子⁴、加藤 省吾¹

¹電気通信大学、²社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院、

³社会医療法人雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター、⁴東京大学

0-24-3 PACUでFNTの追加投与が必要となった患者の背景因子の探索的研究

○田中 明日花¹、増田 雄一²、三村 享²、牧田 ゆかり²、江津 篤²、熊崎 康介²、田中 聡³、
石田 高志³、和田 美紀¹、澤渡 佑子¹

¹信州大学医学部附属病院 看護部、²信州大学医学部附属病院 医療安全管理室、

³信州大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科

0-24-4 胃管栄養チューブのXPによる位置確認についての教育

○伊東 昌広、愛甲 景章、友松 桐子、友松 恵子、外海 祐輔

藤田医科大学 医療の質安全管理部

0-24-5 血管内治療における技術継承と安全性向上のための視線分析の試み

○村上 和司¹、野間 貴久²、松浦 奈都美¹、山口 佳津騎¹、酒井 佳代¹、近藤 恵¹、
柏木 麻衣子¹、南野 哲男²、杉元 幹史¹

¹香川大学医学部附属病院 医療安全管理部、²香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科学

0-24-6 経鼻胃管挿入で誤挿入・誤留置となった136例の検討

～医療安全推進の立場から～

○喜田 裕也

光生病院 内科

9:35～10:35 一般演題(口演) 25 活動報告

座長：大塚 鈴音 (群馬大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部)

佐藤 暢夫 (聖マリアンナ医科大学病院 麻酔科・集中治療センター)

リスク評価・危険予知

0-25-1 看護アシスタントのリスクマネージャー活動の取り組みと多職種連携
～看護チームの一員としてリスク感性を磨く～

○林 みさと¹、浦川 朋子¹、若生 恵美¹、内藤 幸子¹、籾田 雅子²、角田 和博²

¹社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス海老名総合病院 看護部看護アシスタント、

²社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス海老名総合病院 安全推進部

0-25-2 放射線治療室におけるバブルチャート型リスクマップを活用した医療安全活動

○宮内 敦由、黒田 周児、井上 耕介、関 悠花、杉山 昌弘、森 幸絵、樋口 なおと、
齋藤 克己、青木 佑遊、中村 康彦

横浜市立大学附属市民総合医療センター 放射線部

0-25-3 リハビリテーション科におけるセーフティマネージャーの活動について

○永井 智貴^{1,2}、正木 信也¹、中埜 晴美²、小川 雅生³
¹ベルランド総合病院 理学療法室、²医療安全管理室、³外科

0-25-4 当院リハビリテーション科におけるKYTの実践
～危険感受性向上と問題解決能力向上を目指して～

○高橋 裕明¹、八重樫 遥¹、菅原 優帆¹、佐藤 優輝¹、岸里 奈三²、高橋 美枝子³
¹社会福祉法人 恩賜財団済生会 北上済生会病院 リハビリテーション科、
²社会福祉法人 恩賜財団済生会 北上済生会病院 医療安全管理室、
³社会福祉法人 恩賜財団済生会 北上済生会病院 総看護師長室

0-25-5 ラテックスアレルギーおよびラテックス-フルーツ症候群に係る院内対応の
取り組み

○小島 明子¹、三木 春香²、嶋田 沙織¹、山田 緑¹、平井 理心¹、北久保 佳織⁴、雨貝 秀一⁵、
 古田 淳一³、和田 哲郎¹
¹筑波大学附属病院医療安全管理部、²筑波大学医学医療系膠原病・リウマチ・アレルギー内科学、
³筑波大学医学医療系皮膚科学、⁴筑波大学附属病院病態栄養部、⁵エム・シー・ヘルスケア株式会社

0-25-6 アレルギーに対する意識向上に向けた取り組み

○石飛 野乃花、井上 こづえ、栗山 直美、浦田 優子
 九州大学病院

10:40~11:40 一般演題(口演) 26 **活動報告**

座長：浦松 雅史(東京医科大学 医療の質・安全管理学分野)
 平河 勝美(滋慶医療科学大学大学院)

チーム医療

0-26-1 VREのアウトブレイク対応を振り返る ～感染委員として病棟の見直しと対策～

○西山 叶恵、目賀多 悦子
 橋本市民病院 看護部

0-26-2 院内で発生した自殺の再企図予防の課題について

○丹羽 篤¹、和田 照平²、森本 拓頌³、美野 美香⁴、関口 幸代⁴、柳江 正嗣⁴、竹久 志穂⁵、
 中村 理佐⁶、辰巳 陽一⁴
¹近畿大学病院、メンタルヘルス科、²近畿大学病院、患者支援センター、
³近畿大学医学部、精神神経科学教室、⁴近畿大学病院、安全管理センター医療安全対策部、
⁵近畿大学病院、がん相談支援センター、⁶近畿大学病院、看護部

0-26-3 当院におけるハイリスク症例検討会の実際

○世川 修^{1,2}、清水 優子¹、松村 剛毅¹、清水 朋一^{1,3}、野村 実¹
¹東京女子医科大学病院医療安全科、²東京女子医科大学病院小児外科、³東京女子医科大学病院移植管理科

0-26-4 医療安全対策における事務職員の役割と貢献：医療安全チームの一員としての活動

○坂本 勇喜¹、江野 みどり¹、西中 巧²、後藤 啓士郎³、築地 さなえ⁴、中嶋 いくえ⁵、
 吉田 健一⁵、村中 裕之⁶、原武 義和⁷
¹済生会熊本病院 TQM部 品質管理室、²済生会熊本病院 臨床工学部兼医療情報調査分析室兼品質管理室、
³済生会熊本病院 リハビリテーション部兼品質管理室、⁴済生会熊本病院 TQM部 医療安全管理
 室 医療安全専従看護師、⁵済生会熊本病院 TQM部 医療安全管理室、⁶済生会熊本病院 TQM部、
⁷済生会熊本病院 副院長 医療安全管理対策委員長

0-26-5 人工呼吸器装着患者の院外搬送時安全性向上に対する取り組み

○小松 義輝、杉田 匠、大下 夏葵、大崎 柚一郎
 北播磨総合医療センター 臨床工学室

0-26-6 ファシリテーション型マネジメントを用いたチーム医療推進の支援

○中村 知佳子、土師 菜緒子、杉本 麻紀、楠本 昌彦
 国立がん研究センター中央病院 医療安全管理部

13:15~14:05 一般演題(口演) 27 活動報告 座長：小池 大助(藤田医科大学ばんだね病院 安全管理室)
武居 哲洋(横浜市立みなと赤十字病院 救命救急センター)

画像・病理診断報告書(1)

0-27-1 画像診断レポートの未開封件数減少に関する取り組み(続報)

○増田 雄一、牧田 ゆかり、三村 享、熊崎 康介
信州大学医学部附属病院医療安全管理室

0-27-2 人手が少ない地方病院における画像診断報告書への未対応対策 - 偶発病変への対応を中心に -

○西村 俊郎¹、森 純子¹、堀地 悌²、奥 康博³
¹厚生連高岡病院医療安全管理部、²放射線科、³画像診断部

0-27-3 病理診断報告書未読ゼロを目指した当院の取り組み

○和泉元 雅子¹、松家 由紀¹、飛田 陽²、泉 君香³、伊勢田 徳宏³
¹松山市民病院 病理検査室、²松山市民病院 病理診断科、³松山市民病院 医療安全管理室

0-27-4 放射線科読影未読を減らす活動について

○櫻井 和明
日本赤十字社 武蔵野赤十字病院 放射線科部

0-27-5 画像診断報告書確認不足に対する医療安全の取り組み

○森岡 浩一¹、木戸屋 英次²、藤田 和恵¹、清川 真美¹、井上 麻里子¹、高田 健次³、
今村 好章⁴、嶋崎 さおり¹、河岸 拓弥¹、古市 和美⁴
¹福井大学医学部 医療安全管理部、²福井大学医学部 放射線部、³福井大学医学部 放射線医学、
⁴福井大学医学部 病理部

14:10~15:00 一般演題(口演) 28 活動報告 座長：奥村 将年(愛知医科大学病院 医療安全管理室)
武田 理宏(大阪大学大学院医学系研究科 医療情報学)

画像・病理診断報告書(2)

0-28-1 報告書確認対策チームによる偶発的重要所見未対応の追跡システムの評価

○岡田 みちよ、森本 公平、松永 光太郎、田中 拓
川崎市立多摩病院

0-28-2 画像診断レポートの“要対応フラグ”患者からの対応問題事例の抽出と要因分析

○山之口 賢、竹本 さと子、吉井 慧子、相良 直哉、小池 秀治、近江 一昌、辻井 佳代、
濱田 泰成、古田 昭寛、森 章
大阪赤十字病院 医療安全推進室

0-28-3 画像検査報告書へのフラグ付与による『予期せぬ重要所見』の見落とし防止の 取り組み

○大塚 幹夫¹、伊藤 浩²、石井 土朗²、関野 啓史²、伊藤 加奈恵¹
¹福島県立医科大学附属病院医療安全管理部、²福島県立医科大学附属病院放射線科

0-28-4 当院における画像診断レポートの重要所見フラグに関する検討

○高畑 りさ¹、村山 のぞみ¹、盛 淳¹、矢島 功¹、山中 望^{1,2}、橋本 賢一^{1,3}、新本 弘⁴、
荒木 幸仁^{1,5}、辻本 広紀^{1,6}
¹防衛医科大学校病院 医療安全・感染対策部、²防衛医科大学校 心臓血管外科、
³防衛医科大学校 総合臨床部、⁴防衛医科大学校 放射線科、⁵防衛医科大学校 耳鼻咽喉科、
⁶防衛医科大学校 上部消化管外科

0-28-5 放射線レポートにかかわる治療の遅れをなくすには

○浜野 孝^{1,3}、小出 昌秋¹、鈴木 美由紀¹、大木島 尚弘¹、島沢 由香¹、佐々木 昌子²、
杉村 正義²、梅村 朋³、岡田 禎人³、長尾 能雅³
¹聖隷浜松病院 安全管理室、²聖隷浜松病院 放射線科、³名古屋大学付属病院 ASUISHI/CQSO プロジェクト

15:05~15:55 一般演題(口演) 29 活動報告

座長：北村 孝一(大阪公立大学医学部附属病院 医療機器部)
長島 久(富山大学附属病院 医療安全管理部)

教育・トレーニング(4)

0-29-1 チームで取り組むタスクシフト/シェアにともなう養成校における与薬技術演習の試み

○古平 聡¹、谷口 陽子²、東條 圭一³、高橋 康介²、奥山 誠²、益田 直弥³、藤井 正実¹、
藤井 清孝¹

¹北里大学医療衛生学部臨床工学専攻、²北里大学病院看護部、³北里大学病院ME部

0-29-2 中心静脈カテーテル挿入教育の地域共通化プログラムの開発と実践

○西條 文人^{1,2}、荒田 悠太郎²、小黒 草太²、宮坂 矩博²、横川 裕大²、紺野 大輔²

¹東北大学病院医療安全推進室、²NPO 良陵協議会CVC検討会

**0-29-3 院内ポンプライセンスを導入した効果
～看護師だけでなく他職種にも教育して得たもの～**

○吉田 和子

医療法人徳洲会 武蔵野徳洲会病院 医療安全管理室

0-29-4 病棟看護師に向けた人工呼吸器関連広報誌による効果の検証

○岩本 澄也、石川 希美、櫻井 啓一朗、新部 武人

芳賀赤十字病院

**0-29-5 臨床工学技士間のスタッフ教育を通じた安全な内視鏡治療に貢献するための
取り組み**

○鈴木 さら¹、増井 浩史¹、高柳 綾子¹、富永 滋比古¹、太田 早紀¹、小出 昌秋²、浜野 孝²、
鈴木 美由紀²、大木島 尚弘²

¹聖隷浜松病院臨床工学室、²聖隷浜松病院安全管理室

第6会場

パシフィコ横浜 ノース 3階 G318+G319

8:30~9:30 一般演題(口演) 30 研究発表

座長：黒川 美知代(日本赤十字社 医療事業推進本部 医療の質・研修部)
菅野 隆彦(下伊那厚生病院)

転倒・転落(3)

0-30-1 転倒転落アセスメントツール運用に関する検討

○西野 拓也¹、宮城 泰雄^{1,2,3}、山口 文子³、伊藤 博希³、宋 静香³、松山 琴音¹、石井 庸介²、山口 博樹⁴、近藤 幸尋^{1,5}¹日本医科大学 医療管理学、²日本医科大学付属病院 心臓血管外科、
³日本医科大学付属病院 医療安全管理部、⁴日本医科大学付属病院 血液内科、
⁵日本医科大学付属病院 泌尿器科0-30-2 当病棟で発生した転倒・転落インシデントに関する現状と背景要因について
- 消化器外科病棟における過去3年間のインシデント報告の分析 -○竹内 久美子、中島 宣昭、高尾 真紀、塚本 斗美
北里大学病院消化器外科病棟0-30-3 入院患者の転倒・転落事故(重傷)における発生メカニズムの検討
- 重傷事故リスク因子の抽出 -○柏原 英明¹、木村 美香²、新鹿 深夏²、福村 文雄²、加藤 省吾¹
¹電気通信大学、²飯塚病院

0-30-4 転倒・転落リスク要因に関する高齢患者と看護師の認識の比較

○銚之原 寛代^{1,2}、石松 一真²、和佐 勝史²
¹桜橋渡辺未来医療病院 医療安全管理室、²滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科

0-30-5 インシデントレポートの自由記載欄を用いた転倒転落関連のリスク量解析

○上松 東宏^{1,3}、植村 政和^{2,3}、栗原 健^{2,3}、山本 啓央^{2,3}、梅村 朋^{2,3}、北野 文将^{2,3}、平松 真理子^{3,4}、長尾 能雅^{1,2,3}¹名古屋大学大学院医学系研究科博士課程 医療の質・患者安全学講座、
²名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部、³名古屋大学医学部附属病院 ASUISHI/QSO プロジェクト、
⁴慶應義塾大学病院 医療安全管理部

0-30-6 転倒・転落と使用薬剤の因果関係の検討

○有木 宏宗¹、榎本 武治¹、大館 知佳¹、本鍋田 由美子¹、福澤 知子¹、内川 隆子¹、坂上 逸孝²、長田 尚彦¹、安田 宏¹、明石 嘉浩¹¹聖マリアンナ医科大学病院 医療安全管理室、²聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部

9:35~10:35 一般演題(口演) 31 研究発表

座長：玄海 泰子(北里大学病院)
徳嶺 譲芳(杏林大学医学部 麻酔科学教室)

急変時対応・RRS(1)

0-31-1 頸椎前方手術後の気道閉塞に対する医療従事者の action protocol の提案
- 症例報告を中心としたシステムティックレビュー -○山田 賢太郎¹、吉井 俊貴¹、工藤 篤²、江川 聡³、森下 真伍¹、松倉 遊¹、平井 高志¹、猪瀬 弘之⁴、大川 淳⁵¹東京医科歯科大学 整形外科、²東京医科歯科大学病院 医療安全管理部、
³東京医科歯科大学 整形外科治療開発講座、⁴獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科、
⁵横浜市立みなと赤十字病院

0-31-2 患者急変に対する医療者の認識に関する調査報告

○大下 宗亮¹、十河 宏行²、三好 祐子¹、安永 大輝¹、鈴木 純¹¹愛媛大学医学部附属病院 医療安全管理部、²愛媛大学法文学部 人文社会学科

- 0-31-3 インシデントレポートからみた手術関連出血イベントの発生状況と対応
 ○小出 昌秋¹、浜野 孝¹、鈴木 美由紀¹、大木島 尚弘¹、鳥沢 由香¹、鳥羽 好恵²
¹聖隷浜松病院 安全管理室、²聖隷浜松病院 麻酔科
- 0-31-4 A病院におけるRapid Response Team導入前後の症例検討
 ○松本 光平
 徳島県立中央病院
- 0-31-5 ICLSプロバイダーによる院内緊急コール蘇生時の質向上をめざしてICLSの普及におけるスタッフのスキルアップ
 ○上村 雅樹、樋口 明、澤中 政道、丸山 由美子
 社会医療法人崇徳会田宮病院精神科
- 0-31-6 院内迅速対応システム導入を通じた一般病棟での呼吸数測定率向上に関する医療の質改善プロジェクト
 ○濱田 治^{1,3,4}、奥田 興司²、筒泉 貴彦^{3,4}、恒光 綾子^{3,4}、佐々木 典子⁴、今中 雄一⁴
¹愛仁会井上病院 総合内科、²愛仁会高槻病院 医療情報科、³愛仁会高槻病院 総合内科、
⁴京都大学大学院医学研究科 医療経済学分野

10:40~11:40 一般演題(口演) 32 **活動報告**

座長：綾部 貴典(宮崎大学医学部附属病院 医療安全管理部)
 山本 崇(京都大学医学部附属病院 医療安全管理室)

合併症・副作用管理

- 0-32-1 医療事故調査制度に基づく死亡症例報告制度 - 院内死亡症例5051例の検討 -
 ○白神 幸太郎
 京都医療センター医療安全管理部
- 0-32-2 高難度新規医療技術における中長期的なモニタリングの在り方
 ○小出 直樹¹、河崎 尚史¹、定 亮志^{2,3}、柴田 利彦^{1,4}
¹大阪公立大学医学部附属病院 新規技術・医薬品審査部、²大阪公立大学医学部附属病院 医療機器部、
³大阪公立大学医学部附属病院 中央手術部、⁴大阪公立大学医学部附属病院 心臓血管外科
- 0-32-3 硬膜外麻酔後の看護師による観察の院内統一プロトコール策定の取り組み
 ~硬膜外麻酔後の硬膜外血腫による下肢麻痺症例の経験から~
 ○上原 佳代子¹、山田 賢太郎²、塚田 さよみ³、小野 和代⁴、鳥羽 三佳代⁴、工藤 篤⁴
¹東京医科歯科大学病院 看護部、
²東京医科歯科大学病院 整形外科、³東京医科歯科大学病院 手術部 麻酔・蘇生・ペインクリニック科、
⁴東京医科歯科大学病院 医療安全管理部
- 0-32-4 過去の事例を風化させないための取り組み
 ~『筋弛緩薬血管外漏出による術後呼吸抑制に備える』を實踐中!~
 ○鳥田 美和子、矢嶋 ちか江、角田 俊治
 佐久市立国保浅間総合病院 医療安全管理室
- 0-32-5 irAE治療における免疫療法対策チームとの協働ツールの開発
 ○日野 輝隆¹、井上 貴子²、高橋 佳子³、梅下 浩司¹、谷上 博信¹
¹大阪国際がんセンター 医療安全管理部門、²大阪国際がんセンター 呼吸器内科、
³大阪国際がんセンター 外来化学療法室
- 0-32-6 悪性リンパ腫DeVIC療法中の適切な副作用観察につなげる患者安全の取り組み
 ○福田 あゆみ¹、関谷 佳代¹、山上 潤一²、宮下 照美^{2,3}
¹藤田医科大学病院 看護部、²藤田医科大学病院 医療の質安全対策部医療の質管理室、
³藤田医科大学病院 病院機能管理/JCI対策室

12:15~13:05 教育セミナー14

座長：中村 京太（横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療の質・安全管理部）

モニター管理とRRSの精度向上による急変対応の最適化

1 チームで取り組む心電図モニターの安全管理

○石田 岳史

東京科学大学 医学部 総合診療科 茨城県北西部地域医療学講座

2 早期警告スコア（EWS）を使った院内ラウンドで見えてきた問題点

○安宅 一晃

奈良県総合医療センター 救急・集中治療センター(救命救急センター)

共催：日本光電工業株式会社

13:15~14:05 一般演題（口演）33 活動報告

座長：石松 一真（滋慶医療科学大学大学院医療管理学研究科）

亀森 康子（自治医科大学附属さいたま医療センター 医療安全・渉外対策部）

誤認防止・その他

0-33-1 外来透析診療の安全管理「当院での血液透析医療を受けるにあたっての注意事項」の文書作成

○森田 将史¹、炭谷 有亮¹、渡邊 悠希¹、亀田 聡士¹、大森 弘基¹、飯尾 健一郎¹、安東 豊¹、長谷川 新治²¹国立病院機構 大阪南医療センター 腎臓内科、²国立病院機構 大阪南医療センター 医療安全管理室 室長

0-33-2 心不全患者の個別的な生活指導を継続的に行うための取り組み～患者指導シートと情報収集シートを一画面で可視化させて～

○圓道 字乃、金井 咲樹、山下 紗也加、鰐淵 佳絵

福井大学医学部附属病院

0-33-3 患者同士が語り合う心臓病教室～患者の生活習慣を見直すきっかけ作り～

○巻田 智帆、山下 紗也加、山本 敦子、鰐淵 佳絵

福井大学医学部附属病院

0-33-4 患者誤認低減に向けて、新入職員を対象とした研修効果の検証

○塩津 昭子、西出 康晴、橋本 徹

公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

0-33-5 クリニックにおける患者確認方法の徹底

○大川 夕貴¹、小林 敏子²、大関 泰宏¹¹医療法人邦友会 湯河原循環器クリニック、²医療法人邦友会 小田原循環器病院 看護部14:10~15:00 一般演題（口演）34 活動報告

座長：大石 裕子（群馬大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部）

松島 久雄（獨協医科大学埼玉医療センター 救命救急センター）

急変時対応・RRS（2）

0-34-1 病棟看護師の急変予兆に対する対応能力向上にむけた取り組み

○矢嶋 恵理¹、牧田 ゆかり²、熊崎 康介²、三村 享²、上條 泰¹、増田 雄一²¹信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター、²信州大学医学部附属病院 医療安全管理室

0-34-2 急変に備える病棟作り

～モニターアラームの取り組みと急変対応シミュレーション～

○酒井 周平¹、小森 菜々美¹、本間 貴子¹、清水 由美子¹、宗万 孝次²¹旭川医科大学病院 看護部、²旭川医科大学病院 診療技術部臨床工学技術部門

- 0-343 RRS介入に難渋した事例における部署別フロー図の作成
～透析時、緊急内視鏡時、産科出血時、入院外患者対応の介入～
○山路 奨¹、吉野 早苗²、中本 有史¹、森 輝美¹、南 ゆかり¹
¹鳥取大学医学部附属病院高次集中治療部、²鳥取大学医学部附属病院高度救命救急センター
- 0-344 急性期病棟での急変対応能力向上に向けた取り組み
○井上 由希、山本 喜美、木村 真悠子、嶺井 香帆、岩切 美津子
九州大学病院北3階病棟
- 0-345 多職種で改善する生理検査室の急変時対応
○伊賀 恵^{1,2}、中島 絵里¹、奥中 眞也³、辻田 真規³、高田 裕子¹、小路 美子³、中埜 晴美²、小川 雅生^{2,4}
¹ベルランド総合病院 臨床検査室、²医療安全管理室、³ER、⁴外科

15:05～15:55 一般演題(口演) 35 **活動報告**

座長：安宅 一晃(奈良県総合医療センター)
箱田 美知恵(北里大学病院)

急変時対応・RRS (3)

0-35-1 ハリーコールの発動基準の明文化

○江本 晶子¹、笹部 友佳²、吉村 麻里子^{1,3}、水田 貴久美^{1,2,3}、川添 都^{1,2}、南里 美貴²、坂口 嘉郎³、阪本 雄一郎^{1,3}
¹佐賀大学医学部附属病院 医療安全管理室、²佐賀大学医学部附属病院 看護部、³佐賀大学医学部附属病院 院内急変対応班

0-35-2 RRT要請により予期せぬ急変を回避できる組織作りに向けた取り組み

○岡田 瑞恵、松沢 真生美、佐藤 かおり、吉原 千恵、森安 恵実
北里大学病院 看護部

0-35-3 RRSをサポートする薬剤部の取り組み ～緊急挿管薬剤セット運用報告～

○小森 玉緒^{1,2}、新 カヨ¹、工 美恵子¹、吉田 真子¹、友金 幹視^{1,2}
¹京都二赤十字病院医療安全推進室、²京都二赤十字病院薬剤部

0-35-4 A大学附属病院におけるRRS普及活動とその効果について

○新名 亜弥¹、大嶋 康代¹、加島 裕子¹、木村 稚咲子¹、兎谷 祐介¹、古川 敦子¹、柳生 知子¹、西野 聖子¹、板東 由美¹、小林 和幸²
¹神戸大学医学部附属病院 看護部、²神戸大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部

0-35-5 RRS対応看護師の育成システムの構築について

○黒田 夏菜子¹、米原 明日華¹、山路 奨¹、加藤 美穂¹、森 輝美¹、吉野 早苗²
¹鳥取大学医学部附属病院高次集中治療部、²鳥取大学医学部附属病院高度救命救急センター

第7会場

パシフィコ横浜 ノース 4階 G401 + G402

8:30~10:00 S-4

座長：木村 壯介（日本医療安全調査機構）
南須原 康行（北海道大学病院 医療安全管理部）

医療機関内の医療事故の機能的な報告体制の構築にむけて

- 1 「医療機関内の医療事故の機能的な報告体制の構築のための研究」全体像について
○木村 壯介
日本医療安全調査機構
- 2 アメリカにおける医療事故調査・報告制度の概要
○秋元 奈穂子
立教大学法学部
- 3 「医療機関内の医療事故報告体制に関するアンケート結果」について
○森山 仁美、畑 涼子、木村 壯介
日本医療安全調査機構
- 4 「医療機関内の医療事故の機能的な報告体制の構築のための手引き」について
○宮田 哲郎
日本医療安全調査機構
- 5 「医療事故発生時の初期対応訓練に資するモデル動画」について
○南須原 康行
北海道大学病院医療安全管理部

10:10~11:40 PD-19

座長：杉山 良子（パラマウントベッド株式会社）
高田 誠（株式会社オーセンティックス）

転倒転落対策確立を目指した課題抽出と Current Best Approach

- 1 転倒転落対策の組織的な取り組みに向けて
○梅村 朋¹、奥田 希世子²
¹名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部、²浜松市リハビリテーション病院 看護部
- 2 2グループ 目標設定「自施設のありたい姿と数値で目標を設定する」
○黒川 美知代¹、千葉 道子²、篠田 奈緒子³
¹日本赤十字社 医療事業推進本部 医療の質・研修部、²黒石市国民健康保険 黒石病院、
³国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 医療安全対策室
- 3 転倒転落への目標を達成するための物的対策
○初雁 卓郎¹、川口 潤²、奥 俊介³
¹パラマウントヘルスケア総合研究所、²パラマウントベッド株式会社、³RoomT2 転倒転落研究会
- 4 転倒転落対策における多職種連携・人材育成
○金子 由香子¹、要 由紀子²、東 泰弘³、赤城 香⁴
¹医療法人社団愛友会伊奈病院 医療安全管理課、
²一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院 リハビリテーション部、
³公立藤田総合病院 医療安全管理対策室、⁴公立西知多総合病院 医療品質管理センター 医療安全管理室
- 5 患者・家族のエンゲージメント
○鎌田 博司¹、大庭 明子²、奥津 啓子³
¹笠幡病院 看護部、²自治医科大学附属さいたま医療センター 医療安全管理室、
³武蔵野赤十字病院 医療安全推進センター

6 転倒転落における患者個別のリスク評価と対策

○須田 喜代美¹、上野 正子²、高瀬 園子³、大河 正美⁴

¹一般財団法人竹田健康財団竹田総合病院 医療の質管理部 医療安全管理室、

²医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院 医療安全管理室、³NTT 東日本関東病院、⁴金沢医科大学病院 看護部

12:15~13:05 教育セミナー15

座長：草野 央（北里大学 医学部 消化器内科学）

多職種連携で取り組む手術室外鎮静の院内標準化

1 消化器内視鏡治療時の深鎮静－プロトコール作成の経緯と要点－

○一ノ宮 大雅

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 麻酔集中治療医学

2 院内鎮静標準化への取り組みと内視鏡センターの鎮静状況報告

○桑原 麻理子

千葉大学医学部附属病院 看護部／内視鏡センター

共催：ムンディファーマ株式会社

14:25~15:55 PD-20 座長：安井 はるみ（医療の質・安全学会 教育委員会委員／セコム医療システム株式会社）

医療安全教育の難しさと予想外に得られる効果：行動変容に向けた介入の舞台裏

1 ヒトの行動はこうやって変わる：医療安全への行動理論の活用

○飛田 伊都子

大阪医科薬科大学看護学部

2 誤認防止対策が生んだ、プラスアルファの行動変容

○菊地 龍明

横浜市立大学附属病院 医療の質・安全管理部

3 行動の観察から見えなかったことが見える！

－新しい医療安全教育のヒントを探る－

○山田 利恵¹、飛田 伊都子²

¹三菱京都病院、²大阪医科薬科大学

4 医療安全文化って、こうやって創る？

－「みんながやっているから私もやる」の行動心理－

○住友 順子

近畿大学病院

第8会場

パシフィコ横浜 ノース 4階 G403

8:30~10:00 PD-21

座長：進藤 晃（医療法人財団 利定会 大久野病院）

質・安全マネジメントシステムを維持・継承するための組織運営のあり方の提言

1 QMS-Hの意義と導入・推進，維持・継承するためのポイント

○棟近 雅彦
早稲田大学理工学術院

2 医療機関におけるQMS維持・継承の自己評価ツールの開発

○金子 雅明¹、田中 宏明²、角田 貢一³、小山 徳子⁴
¹東海大学情報通信学部情報通信学科、²清水建設株式会社、³前橋赤十字病院、
⁴社会医療法人同心会古賀総合病院

3 自己評価ツールを複数病院で適用した結果について

○田中 宏明¹、角田 貢一²、小山 徳子³、金子 雅明⁴
¹清水建設株式会社、²前橋赤十字病院、³社会医療法人同心会古賀総合病院、
⁴東海大学情報通信学部情報通信学科

4 QMSの維持・継承における自己評価ツールを用いた自己評価と他者評価を行ってみて

○古賀 倫太郎¹、渡邊 輝樹²、加山 千夏²、小山 徳子²、関 孝¹、今村 卓郎¹、石川 哲憲¹
¹社会医療法人同心会古賀総合病院、²社会医療法人同心会古賀総合病院 質安全管理部TQM推進室

10:10~11:40 S-5

座長：榎本 武治（聖マリアンナ医科大学病院 医療安全管理室）
舟越 亮寛（医療法人亀田総合病院 薬剤部）

どうしてる？休薬期間 再開してる？止めた薬

1 術前中止薬の休薬・再開について 医療安全管理者と薬剤師の側面から考える

○冨澤 淳
北里大学病院医療安全推進室

2 術前中止薬の中止と再開における現状と課題 ～外科医の経験も踏まえて

○谷口 雄司、深田 敦子、秦 英司、米山 久美子、難波 範行、千酌 浩樹
鳥取大学医学部附属病院医療安全管理部

3 周術期における抗血栓薬の中止・再開の運用

○三浦 美智枝、渡邊 善正、古沢 由果
社会医療法人さいたま市民医療センター 医療安全管理室

4 術前休薬の安全管理と適正化を目指して

○柴田 ゆうか
広島大学病院薬剤部

12:15~13:05 教育セミナー16

座長：田中 和美（群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学）

浜松医療センターにおける、病院全体で取り組むVTE予防対策

○山本 尚人
浜松医療センター 血管外科/医療安全管理室

共催：カーディナルヘルス株式会社

13:15~14:15 一般演題(口演) 36 研究発表

座長：郷間 巖(堺市立総合医療センター 呼吸器内科)
寺井 美峰子(医学研究所北野病院 看護管理室)

チーム医療・多職種連携

0-36-1 日本の医療安全地域連携体制

○水野 篤¹、安田 あゆ子²、中島 勸³、種田 憲一郎⁴

¹聖路加国際病院 医療の質管理室、²藤田医科大学大学院医学研究科 病院経営学・管理学、
³虎の門病院 医療安全部、⁴国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部

0-36-2 診療放射線技師における焦りの生起要因と業務への影響

○馬淵 龍^{1,2}、伊藤 篤希¹、中井 宏¹

¹大阪大学大学院人間科学研究科、²京都大学医学部附属病院放射線部

0-36-3 PACUにおけるFNT使用時のPANの意識と行動の可視化

○田中 明日花¹、増田 雄一²、三村 享²、牧田 ゆかり²、江津 篤²、熊崎 康介²、田中 聡³、
石田 高志³

¹信州大学医学部附属病院 看護部、²信州大学医学部附属病院 医療安全管理室、
³信州大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科

0-36-4 在宅医療における指示報告・物品管理の実態調査と多職種連携アプリを用いた
安全な物品管理への取り組み

○大塚 泰葉¹、肥後 友彰¹、糺屋 絵理子²、齊前 裕一郎²、勝久 美月²、竹下 裕子²、
藤井 美咲²、石川 武雅³、勝真 久美子³、竹屋 泰²

¹はくとホームケアクリニック、²大阪大学医学系研究科保健学専攻、
³なな-る訪問看護デベロップメントセンター

0-36-5 ゲームを用いた医療安全教育の開発

○小出 直樹^{1,2}、徳和目 篤史^{1,3}、加藤 良一^{1,4}、田中 明日花⁵、山口 悦子^{1,3}

¹大阪公立大学大学院 医学研究科 医療の質・安全管理学、²大阪公立大学医学部附属病
院 新規技術・医薬品審査部、³大阪公立大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部、
⁴大阪公立大学医学部附属病院 リハビリテーション部、⁵信州大学医学部附属病院 看護部

0-36-6 患者間違いにおける防御壁の検討

○高橋 恵、大戸 朋子、三島 史朗、浦松 雅史

東京医科大学 医療の質・安全管理学分野

14:25~15:55 PD-22

座長：長谷川 剛(府中病院 クオリティ管理センター)

山内 桂子(東京海上日動メディカルサービス株式会社 メディカルリスクマネジメント室)

“チームHONGO”リレートーク「患者の声からの学び」

～患者の声を聴く、発言を促す、患者の声を活かす～

1 言えることで、人は癒える ～想いを伝えるための医療者と市民啓発の取組～

○東 光久

奈良県総合医療センター

2 医療安全管理者として患者さんから感謝の言葉を頂いた経験をもとに実践して
いること ～経験を医療安全活動と専門職教育に活かす～

○神谷 美紀子

摂南大学 看護学部

3 患者さんの声を妨げる、医師の無言の圧力の正体を考える

○辰巳 陽一

近畿大学病院安全管理センター・医療安全対策部

4 医師の説明を受けた際の疑問や意見は、医師に伝えられましたか
・・・満足度アンケートで聞いています・・・

○野田 邦子

埼玉協同病院 医局事務課

5 静岡がんセンターの患者の声を聴く仕組みと改善例

○飯島 久子

静岡県立静岡がんセンター RMQC室(医療の質・安全管理室)

6 薬に関する患者の疑問と薬剤師の役割

○川上 善久

飯田市立病院 医療安全管理部

第9会場

パシフィコ横浜 ノース 4階 G404

8:30~10:00 PD-23

座長：長谷川 友紀（日本医療機能評価機構 理事）
横山 玲（公益財団法人日本医療機能評価機構 評価事業推進部）

医療安全文化調査結果から見る組織の継続的な改善 ～エラーや好事例から学ぶ～

1 医療安全文化調査 事例報告「調査結果の分析」

○兼光 洋子
川崎医科大学附属病院、医療安全管理室

2 医師からのインシデント報告と組織の医療安全文化醸成について

○内藤 光三、武田 雄二、福井 直子、梶原 早苗、中川 香澄、徳島 香奈
佐賀県医療センター好生館 医療安全管理部

10:10~11:40 PD-24

座長：大磯 義一郎（浜松医科大学 法学教室）

医療法学で考える最新医療訴訟判決

1 外国人患者への術前説明が問題となった事例

○大磯 義一郎
浜松医科大学法学教室

2 ICUでの転落事例の判決の検討

○小島 崇宏
大阪 A & M 法律事務所

3 乳腺外科事件から見た安全対策

○水沼 直樹^{1,2,3,4,5,6}
¹東京神楽坂法律事務所、²東邦大学医学部、³鳥取大学医学部、⁴埼玉医科大学医学部国際医療センター、⁵日本赤十字看護大学、⁶福島県立医科大学

12:15~13:05 教育セミナー17

座長：新田 雅彦（大阪医科薬科大学 医療総合管理部／大阪医科薬科大学病院 医療総合管理部 医療安全推進室）

医療安全と睡眠薬のかかわりについて

医療安全を考慮した睡眠薬の適正使用

○稲田 健
北里大学 医学部 精神科学

共催：エーザイ株式会社

13:15~14:15 一般演題（口演）37 活動報告

座長：畔柳 信吾（公立西知多総合病院 臨床工学科／医療安全管理室）
宮崎 浩彰（関西医科大学医療安全管理センター）

医療機器（3）

0-37-1 生体情報モニタ関連インシデント防止への取り組み

○安部 静子¹、竹下 智美¹、仙波 亘策¹、松本 紘幸¹、後藤 芳美²、平松 和史¹
¹大分大学医学部附属病院 医療安全管理部、²大分大学医学部附属病院医療情報部

0-37-2 患者監視装置(セントラルモニタ)における安全対策の構築について

○西中 巧^{1,3,4}、管田 墨¹、高宗 伸次¹、高木 望^{2,4}、中嶋 いくえ^{2,4}、江野 みどり^{3,4}、
坂本 勇喜^{3,4}、村中 裕之⁴、荒木 康幸¹

¹済生会熊本病院 臨床工学部門、²済生会熊本病院 医療安全管理室、³済生会熊本病院 品質管理室、
⁴済生会熊本病院 TQM部

0-37-3 医療機器の医療安全情報

○新部 武人、岩本 澄也、櫻井 啓一朗、島田 俊昭、関川 和也
芳賀赤十字病院 臨床工学技術課

0-37-4 人工呼吸器の安全使用(臨床工学技士の視点)

○間嶋 智之¹、前原 哲柁¹、平和 清明¹、紀ノ岡 真弓²

¹社会医療法人ベガサス 馬場記念病院、²社会医療法人ベガサス ベガサスリハビリテーション病院

0-37-5 キセノン紫外線照射ロボット使用による周辺医療機器への影響

○宇留野 達彦^{1,2}、平野 匠^{1,2}、新開 裕幸²、勇 佳菜江²、吉田 直樹²、峰松 佑輔¹、楠本 繁崇¹、
北村 温美²、中島 和江²、高階 雅紀¹

¹大阪大学医学部附属病院 臨床工学部、²大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部

**0-37-6 院内統一と医師・看護師の意識向上でアラームを減らす：モニターアラーム
コントロールチーム(MACT)によるモニターアラーム管理の改善**

○内門 泰斗¹、友栗 英子¹、伊地知 睦美¹、佐潟 芳久²、藏元 直也²、藤崎 裕子¹、宮腰 昌明¹、
赤崎 雄一¹、榎田 英樹¹

¹鹿児島大学病院医療安全管理部、²鹿児島大学病院臨床技術部臨床工学部門

14:25~15:55 PD-25

座長：岸本 真(霧島市立医師会医療センター 薬剤部)
武藤 浩司(新潟市民病院 薬剤部)

**ポリファーマシー対策とリハビリテーション薬剤の活用
～医療の質・安全向上への新たなアプローチ～****1 医療の質・安全向上を目指した多職種連携によるポリファーマシー対策**

○武藤 浩司
新潟市民病院 薬剤部

2 リハビリテーション薬剤の視点を活かしたポリファーマシー対策

○篠永 浩
三豊総合病院薬剤部

**3 医療安全管理者の立場から
～インシデント発生予防のためのポリファーマシー対策への期待～**

○渡邊 幸子
白岡中央総合病院 医療安全管理課

4 医師の視点から -ポリファーマシー、薬剤関連有害事象の改善のために-

○綿貫 聡
地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター 救急・総合診療科/医療安全対策室

5 ポリファーマシー対策と診療報酬改定

○内田 裕之
厚生労働省 保険局 医療課

第10会場

パシフィコ横浜 ノース 4階 G414 + G415

8:30~10:00 PD-26

座長：小泉 俊三（一般財団法人東光会 総合医学研究所、Choosing Wisely Japan）
北澤 京子（京都薬科大学）

患者との対話から生まれる信頼と医療の質

1 対話から生まれる意思決定：EBMとSDMの視点から

○中山 健夫^{1,2}

¹京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野、²同附属病院倫理支援部

2 患者との対話から生まれる患者安全：京都大学病院の経験

○松村 由美

京都大学医学部附属病院 医療安全管理部

3 臨床における「対話」の意義

○孫 大輔

鳥取大学医学部地域医療学講座

10:10~11:40 PD-27

座長：近本 亮（熊本大学病院 医療の質・安全管理部）
畔柳 信吾（公立西知多総合病院 臨床工学科）

医療機器安全部会企画

医療機器の安全管理に関する課題

～各施設の現状から考える、より安全な医療機器の使用について～

1 本邦における医療機器安全管理の問題点

○中島 勸

虎の門病院医療安全部

2 医療機器安全管理における多職種連携 看護師の立場より

○松田 智子

熊本大学病院 看護部

3 中小規模医療機関の医療機器安全管理の実状

○松田 晋也

東京都済生会向島病院 医療安全管理室

4 当院における医療機器安全管理の現状と課題

○井上 和哉

埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学部／医療安全対策室

5 臨床工学技士（CE）がいない施設でもできる医療機器の安全管理

○本田 靖雅

社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 臨床工学室

ファシリテーター：北村 孝一（大阪公立大学医学部附属病院 医療機器部）

13:15~14:05 一般演題(口演) 38 研究発表

座長：鮎澤 純子(九州大学病院)
笠原 聡子(滋賀医科大学医学部看護学科)

認知・行動

- 0-38-1 特定機能病院で働く看護師のヒヤリハット報告に対する認識と行動に関連する要因
○増田 智子、大西 麻未
順天堂大学大学院医療看護学研究科
- 0-38-2 内服と薬業務において発生するインシデントに関する看護師の認識
○中村 友佳¹、石松 一真²、大村 優華³
¹聖路加国際病院看護部、²滋慶医療科学大学大学院医療管理学研究科、
³大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
- 0-38-3 医療過誤や有害事象の第2の被害者の経験と望む支援リソースの実態調査と雇用アウトカムとの関連
○相川 玄¹、池田 光輝²、内 倫子³、大内 玲⁴、福島 綾子⁵、櫻本 秀明⁵
¹関東学院大学 看護学部、²筑波大学附属病院 看護部、³茨城東病院 看護部、
⁴茨城キリスト教大学 看護学部、⁵日本赤十字九州国際看護大学 看護学部
- 0-38-4 アフターコロナにおける急性期医療機関に従事する看護師の年齢とワークモチベーションの関係について
○中島 利佳¹、中野 葉子¹、横谷 知也²、吉井 英美^{3,4}
¹高知大学医学部看護学科、²宝塚医療大学和歌山保健医療学部看護学科、
³高知大学大学院総合人間自然科学研究科看護学専攻、⁴香川大学医学部附属病院
- 0-38-5 リリーフ看護師の心理的安全性に関する実態調査
○石井 恵¹、長尾 莉沙¹、三宅 南美¹、山田 麻優子¹、古谷 千裕²、西村 瑞穂¹
¹川崎医科大学附属病院10階西病棟、²川崎医科大学附属病院看護管理室

14:10~15:00 一般演題(口演) 39 研究発表

座長：遠田 光子(公益社団法人日本医療機能評価機構 教育研修事業部)
徳永 あゆみ(関西医科大学 医療安全管理センター)

その他

- 0-39-1 医療安全にかかわる医療者側の対応に関する患者の理解・意識の調査
“とくに本人確認を中心として”
○片岡 恵美¹、藤田 眞幸²
¹MSPO国際医療安全高等教育院、岐阜ハートセンター、²慶應義塾大学医学部 法医学教室
- 0-39-2 医療の質・安全活動を維持・継承するための医療安全管理者が実施すべき業務項目一覧の提案
○金子 雅明
東海大学情報通信学部情報通信学科
- 0-39-3 データを用いた質改善のための看護管理者のマネジメント行動
○鈴木 友美^{1,2}、勝山 貴美子²
¹公立大学法人横浜市立大学附属病院看護部、²公立大学法人横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻
- 0-39-4 行動経済学を活用した院内職員食堂における黙食の推奨とその効果
○岩佐 葵¹、井出 悠紀子²、伊奈川 岳²
¹横浜市立市民病院 看護部、²横浜市立市民病院 麻酔科
- 0-39-5 看護職が担う専従医療安全管理者の能力への影響要因(第2報)
○坪田 香¹、竹田 恵子²
¹川崎医科大学総合医療センター、²川崎医療福祉大学

15:05~16:05 一般演題(口演) 40 活動報告

座長：新田 雅彦(大阪医科薬科大学病院 医療安全推進室)

山口(中上)悦子(大阪公立大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部)

ノンテクニカルスキル

0-40-1 次世代リーダー育成のための院内コーチングの実践と課題
～大学病院における取組み

○杉本 圭相

近畿大学病院小児科思春期科

0-40-2 心理的安全性可視化による改善のための方策検討に向けて

○清水 潔、福島 敏和、深井 靖大、上村 美穂、高群 博之

一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター

0-40-3 心理的安全性の向上を目指した、パワハラ予防のための効果的研修プログラムの構築

○庭前 野菊

前橋赤十字病院 心臓血管内科

0-40-4 当院チームステップス導入における経緯・活動内容とその効果

○岡野 寛¹、櫛田 俊一¹、白土 てる子¹、大島 誠¹、岩瀬 浩一¹、向後 徹生¹、横谷 浩士²、糸林 詠¹

¹総合病院国保旭中央病院 チームステップス推進プロジェクトチーム、

²総合病院国保旭中央病院 リハビリテーション科

0-40-5 効果的なコミュニケーションの向上を目指したチームステップス推進活動の効果と検証

○鈴木 美由紀、山本 将太、浜野 孝、渥美 生弘、小出 昌秋

聖隷浜松病院

0-40-6 安全なチーム医療の醸成を目指した多職種研修の経験
～ Team STEPPS導入とその経過～

○平野 紘治郎^{1,2}、寺島 富美枝¹

¹福井厚生病院 医療安全管理室、²福井厚生病院 リハビリ課

ポスター会場

パシフィコ横浜 ノース 1階 G1+G2

9:00～9:50

一般演題（ポスター）37 研究発表

座長：谷川 瑞貴（日本医療評価機構 医療事故防止事業部）

石橋 美樹（大阪国際がんセンター がんオーラルケア・歯科口腔外科）

報告制度（2）

P-37-1 当院における歯科関連インシデントの実態調査と予防策の検討

石橋 美樹 ほか

地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター がんオーラルケア・歯科口腔外科

P-37-2 概要分類では顕在化しない医療機器のヒヤリ・ハット、医療事故事例の実態
ー日本医療機能評価機構のコロナ患者における公開データの全文レビューによる解析ー

大石 杏衣 ほか

Kiwi(フリーランス臨床工学技士)

P-37-3 当院におけるリハビリテーション実施中の意識・呼吸・循環に関するインシデントの傾向と対策についての検討

山内 真哉 ほか

兵庫医科大学病院 リハビリテーション技術部

P-37-4 薬局ヒヤリ・ハット事例の分析：調剤業務の各段階におけるエラー内容と要因の特徴

海野 高志 ほか

東京理科大学大学院薬学研究科

P-37-5 薬剤インシデントから見た診療情報システムの医療安全機能の現状

国 典子 ほか

福岡市立こども病院 医療安全管理室

P-37-6 テキストマイニングによる薬局ヒヤリ・ハット事例の有効活用

谷川 瑞貴

日本医療評価機構 医療事故防止事業部

P-37-7 外来におけるインシデント報告を阻害する要素

森 真貴 ほか

市立三次中央病院 外来

P-37-8 当院における死亡報告書の確認体制 ー有用性と課題についての検討ー

坂本 一郎 ほか

長崎みなとメディカルセンター放射線科/医療安全センター

9:00～9:50

一般演題（ポスター）38 研究発表

座長：佐藤 仁（横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療の質・安全管理部）

田畑 雅央（東北大学病院 医療安全推進室）

教育・トレーニング・チーム医療

P-38-1 当院におけるアナフィラキシー事例の検討

田畑 雅央 ほか

東北大学病院 医療安全推進室

P-38-2 医療系学生に求められる医療安全教育（第一報）
～過去10年間の理学・作業療法士と看護師の国家試験出題傾向を比較して～

梶原 志保子 ほか

名古屋大学医学部附属病院卒後臨床研修・キャリア形成支援センター

- P-38-3 医療系学生に求められる医療安全教育（第二報）**
～過去10年間の医師と看護師の国家試験出題傾向を比較して～
秋山 直美 ほか
名古屋市立大学 看護学部・大学院看護学研究科
- P-38-4 看護系大学の臨地実習における医療安全教育に関する文献検索**
山口 今日子
第一薬科大学看護学部成人看護学領域
- P-38-5 挿管困難シミュレーションでの麻酔科医と看護師の共同視野をとらえる：
頭部姿勢推定技術を用いた空間配置描写**
佐藤 仁 ほか
横浜市立大学 附属市民総合医療センター 医療の質・安全管理部／
大阪大学 医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部
- P-38-6 医療安全管理者と糖尿病チームが行う血糖・インスリン事故防止の取り組み
ー血糖・インスリンラウンド表の修正ー**
富山 矩雄 ほか
福井厚生病院看護部
- P-38-7 看護学生が臨地実習で感じた倫理的ジレンマ**
坂本 佳代子 ほか
姫路赤十字看護専門学校

9:00～9:50

一般演題（ポスター） 39 研究発表

座長：上田 英一郎（大阪医科薬科大学病院 医療総合管理部 QI管理室）
末永 由理（東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科）

患者中心の医療

- P-39-1 医療対話推進者の業務の現状**
末永 由理 ほか
東京医療保健大学大学院医療保健学研究科
- P-39-2 医療対話推進者の研修ニーズ**
末永 由理 ほか
東京医療保健大学大学院医療保健学研究科
- P-39-3 振り返りシートを活用してカンファレンス定着から見えたスタッフの意識の変化**
富永 渚 ほか
医療法人邦友会 小田原循環器病院 看護部
- P-39-4 発達障害者が地域で生活するための長期的な社会適応に関わる合理的配慮に関する支援についての文献的検討**
前原 宏美
鹿児島純心大学看護栄養学部看護学科
- P-39-5 高校生の「医療」に対する認識 ～次世代の患者・家族エンゲージメントを目指して～**
上田 英一郎 ほか
大阪医科薬科大学病院 医療総合管理部 QI管理室
- P-39-6 高齢化率の高い地域にあるA病院利用者のACPに対する認識**
安井 由佳 ほか
大田市立病院
- P-39-7 当院における Do not attempt resuscitation（DNAR）の取得並びに多職種での共有について**
榎本 武治 ほか
聖マリアンナ医科大学病院 医療安全管理室

P-39-8 身体抑制の解除に向けての取り組み

中野 礼 ほか
富山市立富山市民病院

9:00~9:50 一般演題 (ポスター) 40 研究発表

座長：小杉 三弥子 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 薬剤部)
皆川 祐亮 (地域医療振興協会 東京北医療センター 薬剤室)

医薬品・医療機器

P-40-1 薬剤師業務の可視化を目的としたプレアボイド報告の2次活用の成果と生成AIを利用した業務効率化の取り組み

皆川 祐亮 ほか
地域医療振興協会 東京北医療センター薬剤室

P-40-2 北里大学病院における持参薬関連インシデントの実態調査

松岡 陽子 ほか
北里大学病院薬剤部

P-40-3 FRAM (Functional Resonance Analysis Method) による注射抗がん薬関連業務の可視化の試み

上間 あおい ほか
大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部

P-40-4 化学療法室看護師による抗がん剤ルート確保と安全な投与管理システムの構築

高木 郁子 ほか
関西電力病院 外来化学療法室

P-40-5 注射薬混注鑑査システム導入による実態調査と今後の課題

古藤野 史花 ほか
横浜市立大学附属市民総合医療センター薬剤部

P-40-6 人工呼吸器ラウンドにおけるチェックリストの検討

古谷 乗 ほか
自治医科大学附属病院臨床工学部

P-40-7 人工呼吸器管理における加温加湿器電源入れ忘れ発見装置の開発と改良

梅田 千典 ほか
自治医科大学附属さいたま医療センター臨床工学部/東京理科大学総合研究院スマートヘルスケアシステム研究部門

P-40-8 医療機器のアラーム集計を用いた不要なアラーム削減へ向けての MAC 委員会の取り組み

渡邊 周平 ほか
獨協医科大学日光医療センター看護部

10:15~11:05 一般演題 (ポスター) 41 研究発表

座長：深澤 美由記 (医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院)
種田 憲一郎 (国立保健医療科学院)

安全文化・安全管理

P-41-1 2023年度安全文化調査報告：日米比較と経年変化

種田 憲一郎
国立保健医療科学院

P-41-2 テキストマイニングを用いた医療安全に関する職員の意識調査

仲山 真人 ほか
新百合ヶ丘総合病院、医療安全管理室

- P-41-3 急性期病院に勤務する看護師の医療事故の不安に関連した職業継続意思と医療安全文化**
坂本 寿美 ほか
滋慶医療科学大学大学院／京都第一赤十字病院
- P-41-4 疑義照会における薬剤師の心理的安全性を高める活動とその評価**
山口 佳津騎 ほか
香川大学医学部附属病院 医療安全管理部
- P-41-5 重大事象発生後の医療安全管理者の関与の考察**
深澤 美由記 ほか
医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院
- P-41-6 産科病棟のインシデント発生リスク予測 ～多発日前の分娩・稼働状況に着目した分析～**
牧田 ゆかり ほか
信州大学医学部附属病院医療安全管理室／信州大学医学部附属病院看護部
- P-41-7 中小規模病院の患者からの暴力の実態、暴力に対する組織の体制と看護師長の支援との関連**
竹内 麻純
日本福祉大学大学院 医療・福祉マネジメント研究科
- P-41-8 認知症高齢者の暴力誘発因子の発生頻度 – EDVRA-S: 認知症高齢者暴力リスクアセスメントスコアシート -簡易版の開発を目指して-**
高橋 智美
名寄市立大学保健福祉学部看護学科

10:15～11:05 一般演題（ポスター）42 研究発表

座長：鴨下 将崇（独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院）
向井 孝仁（独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター 医療安全管理室）

質改善（4）

- P-42-1 行動制限最小化に向けたカンファレンスの実態調査**
向井 孝仁
独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター 医療安全管理室
- P-42-2 A病院のPRRTにおける病棟看護師の被爆防御の現状**
久保 明子 ほか
関西電力病院 看護部 外科病棟
- P-42-3 当健診センターにおける接遇プロジェクト委員会の在り方**
鳥家 佑圭 ほか
社会医療法人中山会宇都宮記念病院総合健診センター
- P-42-4 インフォームド・コンセント時の同席率向上の取り組み**
井上 麻里子 ほか
福井大学医学部附属病院 医療安全管理部
- P-42-5 小児科ワクチン外来における接種前確認テンプレートの評価**
鴨下 将崇 ほか
独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院
- P-42-6 医療DXに向けた医薬品関連情報の標準化状況について**
高田 敦史 ほか
九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター

**P-42-7 造影剤アレルギーの患者に誤って造影CTが行われるインシデントを撲滅する
—QCストーリー「フォローアップ」の重要性—**

岡田 禎人 ほか
半田市立半田病院 医療安全部門／名古屋大学医学部附属病院 CQSO プロジェクト

10:15～11:05 **一般演題（ポスター）43** 研究発表

座長：田中 孝美（日本赤十字看護大学 看護学部）
小久保 登子（松阪市民病院）

転倒・転落（5）

P-43-1 転倒転落発生時の記録・再評価・家族説明の現状と課題

小久保 登子 ほか
松阪市民病院

P-43-2 外来患者の転倒・転落予防対策としてカラーファイルを導入した効果（第1報）

長尾 美沙子 ほか
福岡大学病院 看護部

P-43-3 妥当性を備えた転倒転落アセスメントシート改定の取り組み

前島 由里子 ほか
地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院

P-43-4 A病院B病棟における入院患者の転倒・転落の現状と要因分析（後方視的観察研究）

三浦 淳子 ほか
東京都立病院機構 東京都立東部地域病院

P-43-5 在宅療養者の転倒・転落を回避する訪問看護師のレジリエントな実践

田中 孝美 ほか
日本赤十字看護大学 看護学部

P-43-6 東北大学病院歯科外来における過去10年間の転倒転落インシデントの推移と課題

小林 洋子 ほか
東北大学病院歯科医療管理部／東北大学病院医療安全推進室／東北大学大学院歯学研究科歯学イノベーションリエゾンセンター

P-43-7 当院の転倒・転落アセスメントのスコア化に対する検討

椿野 幸子 ほか
山形市立病院済生館 安全管理室／山形市立病院済生館 リハビリテーション室

10:15～11:05 **一般演題（ポスター）44** 研究発表

座長：宅和 真由美（パナソニック健康保険組合 松下記念病院）
島崎 綾子（群馬パース大学 医療技術学部放射線学科）

その他

P-44-1 画像診断報告書の準緊急所見の発生と診療への影響

島崎 綾子 ほか
群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学／群馬パース大学医療技術学部 放射線学科

P-44-2 リハビリテーション医療におけるコミュニケーションエラーとインシデント：調査結果の報告

星合 敬介 ほか
社会医療法人 黎明会 北出病院 リハビリテーション科

P-44-3 経腸栄養療法のマニュアルに沿わない看護技術プロセスと看護管理事情

橋本 加菜 ほか
医療法人社団 英明会 大西脳神経外科病院

- P-44-4 頸部手術の術後出血に対する頸部手術後観察フローシートの有効性の検討**
大軒 歩 ほか
聖隷浜松病院 B4病棟
- P-44-5 地域外来医療に係わる持続可能な薬薬連携に関する実態調査**
宅和 真由美 ほか
パナソニック健康保険組合 松下記念病院／滋慶医療科学大学大学院
- P-44-6 RRSを導入している病院において一般病棟の看護師がRRT要請をためらう要因**
佐藤 亜美 ほか
鳥根大学医学部臨床看護学講座
- P-44-7 在宅療養者及び家族が求める訪問看護師への安全ニーズ**
伊藤 寿英 ほか
愛知医科大学看護学部地域・在宅看護学領域
- P-44-8 アフターコロナにおける患者と一般人の医療サービスの認識**
吉井 英美 ほか
高知大学大学院総合人間自然科学研究科看護学専攻／香川大学医学部附属病院看護部